

令和5年度 神戸市立星陵台中学校の教育方針(グランドデザイン)

◎ 神戸の教育理念
「人は人によって 人になる」

◎ 神戸の目指す人間像
「心豊かに
たくましく生きる人間」

◎ 神戸市が目指す
これからの学校の姿
「人がつながり ともに創る
みんなの学校」

生徒の実態

- 素直、真面目、礼儀正しい
- 前向きで思いやりがある
- 挨拶、返事等、基本的な生活習慣が身につけている
- 学習に対して真面目に一生懸命取り組む姿勢がある

保護者・地域の願い

- ・ 学力向上
- ・ 社会性
- ・ 積極性
- ・ 協力
- ・ 思いやり
- ・ 健全な成長
- ・ 地域貢献
- ・ 社会貢献

星陵台中学校 校訓 モラルとマナー

学校教育目標
「健康と安全」
「基礎学力と創意工夫」
「自主自立と実践」

教育努力目標
「力の付く授業の推進」
「挨拶の励行・健康でたくましい心と体づくり」
「開かれた学校づくり」
「ボランティア活動の推進」

めざす生徒像

- ・ 考えて行動する生徒
- ・ 豊かな心、社会の一員としての倫理観、確かな学力を備えた生徒
- ・ 自尊心を持ち、夢の実現に挑戦する意思をもって主体的に行動する生徒
- ・ 他者の良いところを見つかけられる生徒
- ・ 他者との葛藤を対話で軽減・解消しようとする生徒
- ・ 地域の一員として社会に貢献しようとする生徒

めざす学校像
「楽しい学校・安心、安全な学校」

- ・ 誰もが自他を尊重し、学び、成長する学校
- ・ 生徒、保護者、教職員が「通って良かった」「通わせて良かった」と思える学校
- ・ モラルとマナーが身につく学校
- ・ いじめ、不登校、生徒指導上の問題に素早く組織的に対応する学校
- ・ 気兼ねなく相談でき保護者と教員が手を携える学校
- ・ すべての生徒の能力を、開発・伸張する学校
- ・ 学習場面で一人一人の生徒が主体となり、授業改善に取り組む学校

◎ 「明日につなげる
新・こうべ教育プラン」

基本政策1
心豊かにたくましく生きる
神戸の子供を育む

基本政策2
安全・安心で
楽しい学校を築き
地域と共に子供を支える

めざす教職員像

- ◎ 向上心と情熱をもって生徒とともに学び続ける教職員
 - ◎ 組織的に協働できる教職員
 - ◎ 生徒の小さな変化に「気づく」ことができる教職員
 - ◎ 地域・保護者に応援される教職員
 - ◎ 生徒一人一人の将来や社会とつながる授業づくりを目指す教職員
 - ◎ 生徒に愛情をもって寄り添い、生徒の可能性を信じ伸ばすことに全力を尽くす教職員
- ・ 人権意識を高く持ち丁寧な言葉かけられる教職員
 - ・ 学ぶことの面白さを全面的に生徒に伝える(教材研究を怠らない)教職員
 - ・ 組織の一員としての自覚を持ち、学校運営に積極的に参画する教職員
 - ・ 生徒の行動と判断の善悪をしっかりと見極め、指導を怠らない教職員
 - ・ 豊かな人間性を高め教育理念の実現を目指し、自己研鑽に努める教職員
 - ・ 法を守り規範を自ら実践する教職員

何ができるようになるか

- 主体的に学習に取り組もうとする
- ① 学習したことや体験したことを生かす。
- ② その場の状況に適した判断をして、課題の解決をしようとする。
- ③ 他人の考えを傾聴することで、自分の考えをより深めることができる。
- ④ 自分の考えや気持ちを、言葉やICTなどのツールを用いて的確に表現ができる。

何を学ぶか

- ① 様々な活動を通して、言語能力、情報活用能力、表現力を育成する
- ② 各教科、道徳の学習、ボランティア活動などを通して、自分と他者とのかわりや、社会とかわり・参画する力を育成する
- ③ 各教科の見方・考え方を働かせて「問題発見・解決能力」を育成する

資質・能力の育成

何が身についたか(生徒・教師)

- 学習評価方法と学習指導方法の改善
- 生徒、教職員間のコミュニケーション
- 学習の効率化 進んで学ぶ習慣
- 業務の効率化
- 新しい教育技術を取り入れる
- 保護者との連携 教職員・学校への信頼
- 学習したことを日常生活に生かす力
- 他者との公正・公平・寛容な関わり
- 自己有用感・自己肯定感
- 学習に適した環境を表現する実践力
- 防災スキル
- 地域や社会の一員として関わろうとする態度
- 自分の将来の展望を持ち、その実現のために頑張る態度
- 健康・健全な生活に関する理解と実践

生徒の発達をどのように支援するか

- 特別支援教育の知見を活かした学習活動
- 生徒の自主的活動を促す活動を進める 一方通行な授業ではなく、班活動や対話へ生徒自らが目標や課題を設定する
- 感動体験を通して自尊感情の向上を
- SCやSSWとの情報共有 関係機関との連携
- 命の教育を推進し、豊かな心を育む 平和 防災 道徳 人権教育

どのように学ぶか

- 生徒の特性に応じた学習指導の展開 「学習のねらい」や「いまここ」の明示
- 対話的な学びを取り入れた授業展開
- ICTや学校図書館を活用した授業展開 タブレットドリル 図書室の活発な利用 生徒用端末の効果・効率的な使用方法開発
- 地域の教育力を活用する トライやる・ウィーク 幼保小中連携

実施するために何が必要か ☆指導體制の充実 家庭・地域との連携・協働

- 健全育成と危機管理能力の向上(生徒のいるところに教員がいる)
- 組織的な対応と確実な「報告・連絡・相談」 問題・困りごとを一人で抱えない
- 生徒の自主的な活動により規範意識や帰属意識を育てる
- 教職員のマネジメント力の向上(学級 学年 部活動 委員・係活動 職員室)
- 家庭との連携の強化…保護者との連携(保護者連絡会) 家庭学習の手引き
- 地域資源の積極的活用(学校運営協議会 地域の事業所 幼保小中連携 ガスティーチャー)
- 日々のコミュニケーション 「星陵台ワンチーム」の意識 それぞれの専門性や得意を生かし認め合う、若手が育つ職場づくり
- 学校からの積極的な情報発信(ホームページ 学校だよりや各種たより「すぐる」の発信)
- 近隣小・中学校との連携・情報交換 神戸市教育委員会への相談、指導助言
- スクールサポーター 支援員 部活動外部顧問 等の活用
- 環境整備 「日々の小さな気づきを大切に」 学校備品の管理